

取組紹介

その2

社長自ら1ヶ月の育児休業取得!  
休みは取るのが当たり前の風土づくり

取組内容

- 当社は、休みを取りやすい、残業をしないという雰囲気作りを進めています。
- そのため、2021年、2023年において、社長が育児休業を取得しています。2023年は1ヶ月の育休を取得することで、休暇を取りやすく残業をしない風土を作ることに成功しています。
- 管理職が率先して定時に退社、有給休暇も率先して取得するようにしています。それでも他に業務が滞らないように案件や社員の業務量を把握し、業務量の偏りが発生しないように調整を行っており、次の日に回せる仕事は回すという意識付けを進めています。
- また、業界未経験の従業員については、工数見積もりの不十分さから残業が発生するため、管理職がこまめにフォローしています。



取組による効果

- 休んでも問題ないという認識変化、各種休暇は取るのが当たり前の風土作りが進んでいます。
- 創業以来、有給休暇取得率は63%以上を維持し、期限切れでの権利失効0日を継続しています。
- 今年度は月間の残業時間が3時間程度となっており、意識付けや管理が進んでいると感じています。休みやすい、働きやすい会社であると、社員の充実度が高まっています。

取組紹介

その3

在宅ワークの導入により働き方の選択肢を増やし、  
育児時間やプライベート時間をプラス

取組内容

- コロナ禍がきっかけではありましたが、2019年度より現場業務・バックオフィス業務の両方で利用できる在宅勤務制度を取り入れました。制度上は月4日までと規定していますが、子育て中の社員など、状況によってはそれを超える日数で在宅勤務をしています。
- クラウド/業務システム/チャット等のITツールを活用して、コミュニケーションを細かく取るようにしています。在宅勤務者がいる日は、在宅勤務者・出勤勤務者の双方がオンライン会議システムに常時接続し、雑談を含め、すぐに対話できる状態にしています。
- 普段から社長と従業員、従業員間の雑談をするようにしています。その雑談から働き方について感じている事を耳にする事が多く、改善のヒントの場となっています。
- ITツールの導入当初より、環境整備・業務手順の確立・コミュニケーションなど、さまざまな側面からの課題が発生してはいましたが、東京都や区の支援事業、各種助成金を活用し、今現在も更なる改善を進めています。



取組による効果

- 在宅勤務等、働き方の幅が広がり、契約社員から正社員への転換もありました。
- 2022年度の年間平均在宅率は、10.2%であり、導入当初よりも大幅に伸びています。
- 帰省する際、少しでも早く帰れるようになったり、家族と夕飯の時間の確保ができた、プライベートとの両立ができるようになりました。

ライフ・ワーク・  
バランス  
EXPO東京 2024

ヒト  
企業成長を加速させ、人財が集まる職場へ  
～多様な「暮らし方」「働き方」の実現～



エコアティア株式会社

社員とその家族が安心して働ける会社を目指す



# エコアティア株式会社

## 社員とその家族が安心して働ける会社を目指す

### 会社概要

代表者名： 代表取締役 多澤 信城  
 創立(創業)： 2018年  
 所在地： 東京都江戸川区西小岩1-20-8  
 丸昌西ビル3C  
 TEL： 03-6806-9080  
 FAX： 03-6806-9088  
 従業員数： 8名(うち正社員6名)  
 URL： <https://www.ecoatia.co.jp/>  
 事業内容： 土木工事業・土木コンサルタント・  
 土壌汚染対策の調査、設計及び施工



### 目的・理念

## 地球環境の改善を通じて、より豊かな生活環境を未来へ

私たちが暮らしている地球の環境は、土や水、空気などから成っています。しかし近年、これまでの産業活動による土壌汚染や地下水汚染が問題になり、生活環境にも影響を及ぼしています。それらの環境が改善されれば、そこで暮らす人や働く人の生活環境が良くなり、より住みやすくなる、未来は良い方向へ向かうでしょう。エコアティアは、すべての根本となる土や水と向き合い、その環境を改善することで、人々が安心して豊かに暮らせる生活環境の実現を目指します。



### 経営者からのメッセージ

すべての生命にとってかけがえのない存在である土、水。それらをきれいに保ち、豊かな環境を未来へつなぐことが私たちの使命です。私たちの仕事は、生きる基盤となる土や水の状態を調査し、汚染されていけば浄化して、環境を改善することです。依頼先企業の事業目標を達成することはもちろん、そこで暮らす人や働く人が健やかでいられるように、未来に負の遺産にならないように、真摯に地球環境と向き合うことをモットーにしています。そうすることで、未来を守ることができる、人々が安心して豊かに暮らせる生活環境を継承できると信じて、私たちができることは全力で取り組んでまいります。

ライフ・ワーク・バランスの取組は、私たちが真摯に地球環境と向き合うためには当然に必要なことなのです。経営方針として「社員とその家族が安心して働ける会社」「働く子育て世代を応援する会社」になることを掲げて取組を推進しています。



代表取締役 多澤 信城



### 取組の経緯・背景

会社設立時から、経営方針の一つに「社員とその家族が安心して働ける会社」を掲げていました。サラリーマンとして働いていた際、出産や介護を機に退職される方、残業や休日出勤を繰り返して、体調を崩される方、家族との時間をあまり持てない方などを見てきて、仕事とプライベートの両立の難しさを感じてきました。家族と一緒にご飯を食べる、夜は趣味に時間を充てる、睡眠時間を十分に取る、当たり前のことを当たり前にできる「安心して働ける会社」を大切にしたいという考えから、ライフ・ワーク・バランスに取り組んでいます。

創業時より取り組んでいるため、一人目の社員入社時より、有給休暇取得日数や残業時間などの目標を満たす状況を継続しています。今後も様々なトライアルをしながら更なる改革をすすめていきたいと思っています。



### 従業員の声



- ITを使って、業務を共有することで、急なお休み等でも引き継ぎができるので、社内間の連絡でのストレスは減った。チャットを取り入れたことで、社内間の連絡がスムーズになった。社内の雑談も、一つの改革にヒントになり、コミュニケーションが円滑になった。コミュニケーションを大事にしていることで、さらに社内の風通しがよくなった。
- 最近、代表が一ヶ月の育休を取得したが、当初は業務に少し不安があったものの、引継ぎと仕組みがきちんとできており、安心して業務に打ち込めた。また、自分も休む時は休んでも問題ないのだと思うことができ、仕事とプライベートのスケジュール管理をしながら、心置きなく有給休暇を申請できるようになっています。リフレッシュして仕事に打ち込めます。

### 取組紹介

## その1

## 現場に直行直帰しても業務が滞らない 環境整備で残業時間を抑制

### 取組内容

- 弊社では、現場業務が全体の2割程度、打合せや営業等での外出が3割、残り5割が社内業務となっています。
- 現場業務や外出においては、会社との往復をせずに直行直帰が可能となる業務体制を構築しています。
- 現場業務期間中には、『会社に戻らなければ出来ない業務』が発生しないよう、案件ごとに作成する見積書・設計図・現場写真・報告書等の資料は全てクラウド上で管理し、事務所での作業が必要な場合は上長に報告後、アシスタント又は社内で業務を割り振るなどの対応をしています。
- 業務システムの導入により、誰でも簡単に案件の進捗確認が出来るようにしました。
- 打合せもオンラインで実施し、交通費精算などの社内向け各種申請にもグループウェアを活用しているため、社内に戻ることなく、手続きを進めることができます。
- ITを活用したシステムの活用だけでなく、各案件資料を紙保管するファイルの背表紙にも各工程の進捗状況を表すラベル表示を行うといったアナログの可視化策を用いるなど、全員が案件内容・業務量・進捗状況を把握するための工夫を多面的に行っています。

### 取組による効果

- リモートで業務を進められる環境を整備することにより、現場業務中でも、隙間時間を使って、前現場の報告書作成や他現場の見積作成、車内にて会議参加など、さまざまな業務を進めることができるようになりました。現場が終われば業務も終わり、帰社の必要性も、現場での残業も発生しません。
- 一人当たりの平均残業時間は創業時以降10時間/月未満を保っています。帰社のための移動時間がなくなることにより、残業時間が抑制できるだけでなく、効率よく業務が進められるため、現場期間中でもプライベートの予定が立てやすくなりました。
- 全員が、案件内容や進捗状況を把握できているため、業務量の負担が大きい案件、業務があった場合には、部署の垣根を超えて業務分散を行っています。

